

2820

Rotary
District 2820



CREATE HOPE
in the WORLD

8 | Vol.2
2023

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

DIALOGUE **Governor+** No.2

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区ガバナー 齊藤 正行 氏

カウンセラー・総括委員長メッセージ

委員長メッセージ

5月会員増強報告・出席報告

新会員紹介

メンタルヘルス

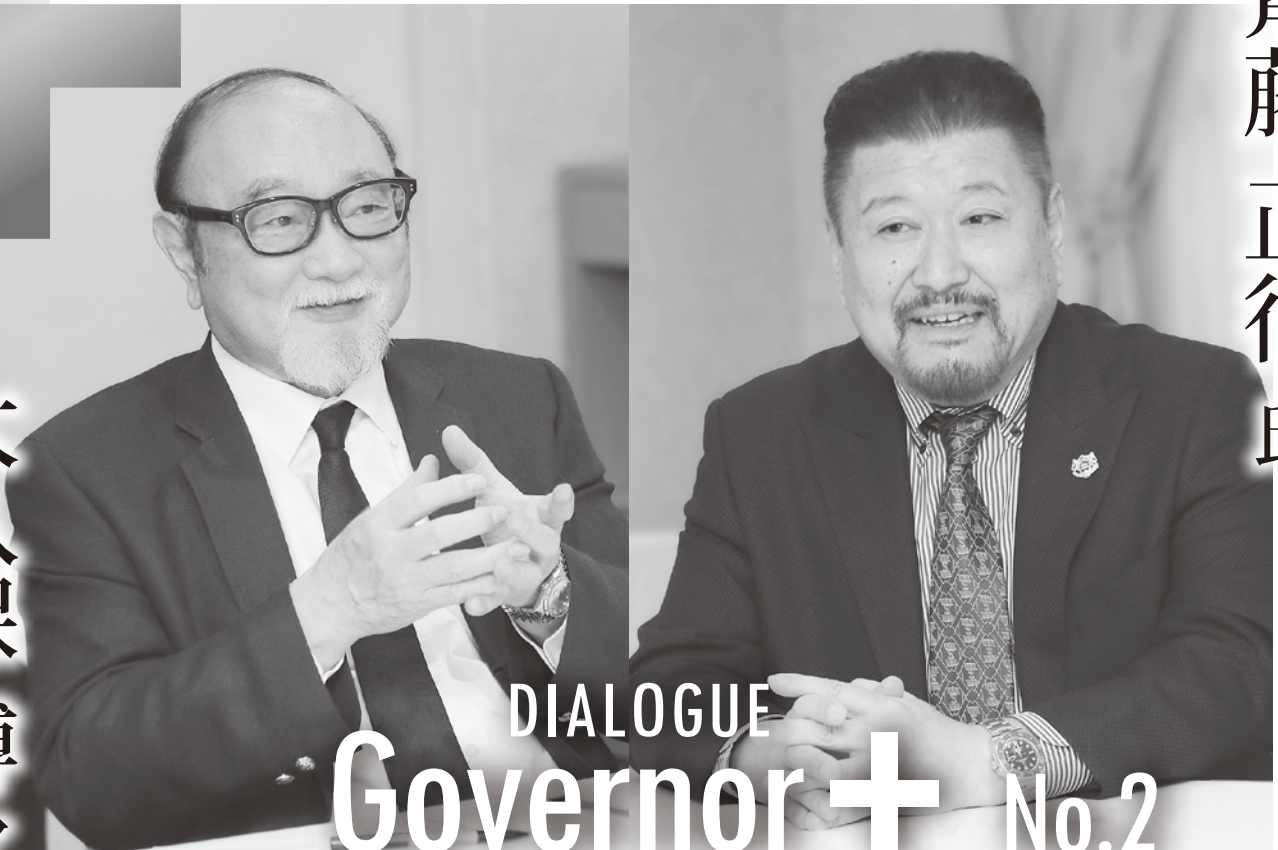
こころの健康に目を向けましょう

ガバナー公式訪問・スケジュール

地区大会のご案内・

シンガポール国際大会早期登録のご案内

コラム 私の思い・編集後記



ロータリーとライオンズのTOP同志が 奉仕について語り合う

＜大久保ガバナー＞ 国際ロータリー第2820地区ガバナーの大久保です。本日は宜しくお願いします。

＜齊藤ガバナー＞ ライオンズクラブ国際協会333-E地区ガバナーの齊藤正行です。本日は宜しくお願いします。茨城県のライオンズはメンバー数が4,200名くらいです。ライオンズの考えとしては、メンバーを増やすには新しいクラブを作ることが重要で、それが最大の方針という考えです。

＜高原幹事＞ 私たち第2820地区の下には分区が8つあって、その下に各クラブがあります。クラブごとに会長・幹事がいて、委員会があるという組織です。ライオンズはどのような組織ですか？

＜齊藤＞ 333-E地区というのは、A、B、C、D、Eとあって、例えば、A地区が新潟、B地区が栃木です。ですから、新潟、千葉、茨城、群馬、栃木

の5県が333という複合地区なのです。

＜高原＞ なぜそういう質問をしたかという、ロータリーも会員が減っています。組織をいっぱい作ってしまうと、そこに必ず頭が必要ですから、人数が少ないと、その中で役割が大変です。その辺のお悩みはないのかなと思ひまして。

＜齊藤＞ それはいつも悩んでいるのですが、ある程度高年齢化したクラブには新しい人が入ってこなくて、それよりも、新しいクラブを作って、新しい勢いを作ったほうが会員を増やすのにはいいという考えが今、強いのです。今期の国際会長は特にそれが強くて、古いクラブを助けるより、新しいクラブを立ち上げたほうが会員は増えると。実際、新しい勢いのあるクラブが1つできて、古いクラブが1つやめるとというのが毎年のことです。

＜高原＞ やめたところの会員はどうなるのですか。

＜齊藤＞ やりたい人はほかのクラブに移籍します。でもどうしても過疎地は辛い。だったらということで、国際会長が新しいクラブを作るだけの委員会を作ろうという方向です。

＜大久保＞ ロータリーも、新しいクラブと言えば、Eクラブとか、衛星クラブとかあります。

＜高原＞ 会の中に子クラブみたいにして、そのかわりやることを少なくして。

＜齊藤＞ それはうちもあります。支部というのがあります。それはハードルを低くして、5人で出来て、会費も安くしています。そこから、支部が増えたら、今度はクラブにしようという考えで作っています。

＜大久保＞ 本部はアメリカですが、本部の考え方はどうですか。女性会員を入れるというのはどこでも言わなくてはならないのですが、ライオンズはどうですか。

＜齊藤＞ 力を入れています。あの手この手でやっています。

＜大久保＞ 私が所属している水戸ロータリークラブも、長年、女性会員は入らないクラブでしたが、女性会員が増えて、活性化しました。

＜齊藤＞ ライオンズでは茨城県全体で次年度、役についてもらう女性は50人です。

＜大久保＞ 奉仕についてお聞きします。国際ロータリーでは7つの重点分野を提唱していて、平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、環境という7つの重点分野の中から、各クラブが自分の地域に合う運動を選んでやって下さいという指針がありますが、ライオンズはそういうのは自由なのですか。

＜齊藤＞ クラブに合った奉仕を皆で考えてやりましょうというのが第1番の考えです。

＜大久保＞ ガバナー予定者は、アメリカで研修するのですか。

＜齊藤＞ 2月にシカゴでやりました。大変でした。シカゴの何もなくて、雪で凍っていて、軽井沢の山の中みたいな感じです。そこに巨大刑務所みたいな施設がありました。

＜高原＞ それはライオンズの施設なのですか。

＜齊藤＞ 違います。もともと大学だったか何かを研修センターに変えたのですね。

＜大久保＞ 私は、1月に、マイアミの巨大なゴルフ場の中のホテルで1週間、缶詰になって、勉強になりました。

＜齊藤＞ 世界のガバナー予定者約700人ですね。

＜大久保＞ 私どもは500人ぐらい来ていました。日本からは34人ですかね。

＜齊藤＞ 日本は35人です。

＜大久保＞ 私が今年やろうと思っているのは、推奨する7つの重点分野がありますが、地域経済の発展を何とかしたい。茨城県は魅力度最下位が大体定番で、今はブービーですが、それを何とかする一環として、各クラブからお薦めのスポットを2つ出せと。55クラブから2つずつ出してもらえば110で、ガイドブックを作って、それで休日に訪ねて行ったりする人がいれば、金も落ちるでしょうということで、「ミシュラン」としたかったのですが、それはまずいので、「見て覧（ミテラン）」という名前をつけて、写真と文を出してくれと。今年はこれ一本でやろうと思います。

＜齊藤＞ ライオンズは「We Serve」で、みんなで一つのことをやろうということですが、私の今までのロータリーのイメージとしては、「I Serve」、一人ずつがみんな奉仕するみたいな、一人でどこかに寄附するみたいな感じなのですか。

＜大久保＞ 今度、国際会長が世界平和というのを強く打ち出したので、1人1,000円をクラブ地区内全員が出して、それをウクライナに寄附しましょうというのはやっています。方向性が違うかもしれませんが、今年からロータリークラブは環境という7つ目の重点分野について海岸清掃とか河川のごみ拾いなどを始めたのですが、僕はクラブが中心のロータリーだと思っています。主役はクラブ、地区は応援団です。情報提供したり、セミナーをやったり、あとは、1クラブではできないウクライナ支援などはま

とめて地区がやるということで、あくまでも主役はクラブだから、各クラブが創意工夫して奉仕をやって下さいと思っているのですが、ライオンズはどんな感じですか。

＜齊藤＞ 同じです。ただ、一人ずつだと小さい奉仕しかできないという考え方で、集まって何かをやる。例えば、クラブ単位で清掃活動をやりますよね。そうすると30人くらいで河川の清掃活動をやっても、それはそれでいいのですが、もっと地域を巻き込んで、何クラブも合同でもっと大きなボランティアをやる方が世間の人にも分かってもらえるし、それによって、メンバーがまた増えるのではないかという考えで、次年度はそういうふうに訴えていこうと思っています。

＜大久保＞ まさしく「We Serve」の精神ですね。

＜齊藤＞ そうですね。だから、クラブ単位だけではまだ小さいと思うので。

＜大久保＞ ロータリーもライオンズも、最初のきっかけは、誰かに誘われて、最初から奉仕するぞというより、友達ができるとか、金脈よりも人脈が勝るといって誘い文句で入れてしまうわけですが、ライオンズも同じでしょう。

＜齊藤＞ よく聞くのは、ライオンズに入る前に別な団体に入っていて、先輩、後輩で自動的に入るといって噂は聞きます。私は初めて声をかけられたのがライオンズでしたが、昔から、ライオンズはお金持ちの人がやっている特別な団体というイメージしかなかったの、自分はちょっとと思ったのですが。

＜大久保＞ でも、いつの間にか中心になった。

＜齊藤＞ 先輩に声をかけられて、やってみると言われたので、頑張っていたら、こうなってしまったみたいな感じはあります。私が所属するクラブはつくばライオンズといって、筑波山の麓にあって、一番古いですね。そこは人口が減っています。ところが、中心部はどんどん増えています。新しくできたこの地区のクラブはすごく増えています。勢いがある、このまま

では抜かれてしまいそうです。若い人ばかりで、平均45歳ぐらいじゃないですか。もう50人を超えているので。

＜大久保＞ これから人口がたくさん増えることは望めないで、質のいい奉仕をやることによって認められていかないといけないですね。ライオンズって、街でよく看板が出ている団体ですよ。ロータリーは意外とないのです。なぜでしょう。

＜齊藤＞ 時計塔を作ったりするのが得意ですね。私の考えは、もっと地域を巻き込んでいろいろな活動をやっていきたいと思っています。

＜大久保＞ それはすばらしいですね。

＜齊藤＞ 我々がこんなことをやっているということが認識されれば、もっと増えるのではないかと。

＜大久保＞ 最初に言ったように、ロータリークラブの始まりは「職業奉仕」で、お互いから買おうということから始まったので、ロータリー同士の仕事はOKなのです。ライオンズはどうですか。

＜齊藤＞ 今までは、例えば、政治とか宗教とかライオンズはだめですが、仕事はOKということで、例会でどんどん仕事をアピールしてもいいし、私もどんどん言っています。

＜大久保＞ そうですね。ロータリーはもともと仕事を大いにやりながらという趣旨だったので。

＜齊藤＞ 人脈がどんどん増えていくと、いつの間にか仕事も増えていると思うのです。

＜大久保＞ そうですね。がつがつするのはよくないけど、上品に、自然に増えていけばいいと思います。

＜齊藤＞ そうなのです。がつがつやるとだめなので、じわじわと、いつの間にか。でも、5年とか10年やっている、いつの間にかメンバーも仕事って必ず増えていると思います。それをどんどんメンバーに発信していこうと思っています。

＜大久保＞ 青少年の話ですが、ロータリークラブは、インターアクトクラブとローターアクトクラブと2つ持っていて、ローターアク

トクラブは青年団、インターアクトクラブは高校生だけですが、ライオンズはどうですか。

＜齊藤＞ レオクラブというのがあります。小学生くらいから入ることができ、25歳ぐらいまでです。

＜大久保＞ ローターアクトクラブは非常に大変なのですが、インターアクトクラブは結構増えていまして、高校生のJRCと同じで、インターアクトクラブも、奉仕クラブとして学校にあります。

＜齊藤＞ それに力を入れていこうという話があります。ボランティアで単位がもらえるとかね。

＜大久保＞ ライオンズとロータリーは似たような団体で、ライバルであり、奉仕をやっている団体というところまでは認知があると思いますが、だんだん運動の質も変わっているので、質のいい運動に転換していかないとクラブを続けていくのが難しい時期になったと感じています。だから、これからそのアイデアを考えたいと思いますが、今日は、「みんなでやろう」という齊藤ガバナーの方針を聞いて、ロータリーもそれは大事だとつくづく思いました。インパクトを与えるのには、より大きな単位で運動し

ないとだめだということを感じました。これからは良きライバルとして、切磋琢磨して、お互いに地域のために頑張っていきたいと思います。ありがとうございます。

＜齊藤＞ 確かにライオンズとロータリーは比べられていて、ロータリーに負けるなみたいな声も聞いたりします。私もロータリーのお客さんが多くて、美術品などが好きな方が多く、個人的に寄附するということで、そういうのを個人的にやるのだなと思って見ていたのです。ただ、我々は「We Serve」なので、例えば、お金を出せる人はお金を出して、お金を出せない人は労力を出す。そういうのをみんなで分担しながら一つ大きなことをやろうという考え方は全くぶれていなくて、それを、次年度は、もっと大きく、町とか市とか県という考えでボランティアをやっていければとは思っています。

＜大久保＞ 大まかな違いが分かりました。勉強になります。お互いに頑張りましょう。ありがとうございます。

＜齊藤＞ 今日は勉強になりました。ありがとうございます。

＜高原＞ 本当にありがとうございました。



+

PERSON

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区ガバナー 齊藤 正行 氏

所 属 333-E地区 4R2Z 筑波ライオンズクラブ
 生年月日 1965年4月18日
 職業・役職 有限会社マックス 代表取締役
 株式会社つくばコーポレーション 代表取締役

趣 味 映画鑑賞、カラオケ
 最終学歴 茨城県立筑波高等学校
 その他 つくば市立前野小学校 元PTA会長
 つくば秀英高等学校 元PTA会長



カウンセラー・総括委員長メッセージ



居心地の良いクラブライフを目指して

クラブ奉仕 担当カウンセラー

藤 居 彰 一

(日立RC)

大久保博之年度のクラブ奉仕担当カウンセラーを拝命致しました、藤居 彰一（日立RC）です。

まずは、前任の高橋賢吾担当カウンセラー、星野幸子総括委員長、大高司郎支援アドバイザーの熱心な御指導により、「ロータリー賞」全国34地区中、連続3年1位、世界で約530地区中2年連続で1位を受賞されました事に心より敬意を表します。

御承知の通り当委員会は、会員増強委員会、クラブサポート委員会、公共イメージ委員会及びIT委員会により構成されております。

大久保年度の地区チーム研修セミナーにおいても、会員増強に関し強調されていた印象を持っております。最近、職業奉仕を軸にして、議論が進む事が少なくなって来た様に感じますが、各クラブがそれぞれ置かれている状況の中で、「世の中で良い事をしよう。」と言う計画の実現を目指す時、それに対応すべき職業分類に即した人材が必要になるわけで、人数の枠合わせですむことではありません。そして、クラブの特徴として、クラブの内外に、当該クラブの特徴（地域への浸透度等）が、理解されることが必要であると思います。

歴代のクラブ奉仕御担当者の方々が、指摘されていることに、皆が分かり易い「戦略」、「計画」、「方針」を必ず広報し理解と協力を得やすくするべきであると思います。

さらに最近感じる事は、物事の「手段」と「目的」が曖昧に捉えられている場合が散見されます。「手段」を達成しているのに、「目的」が、達成して居ない事が、起きてないでしょうか？

これらの事を実行するのに、毎年一から考え直す必要があるとは思えません。腰を落ち着けてじっくり考え真剣に取り組み甲斐のある計画を立案し、一つ一つ確実な達成をみんなで見合える年の起点にしませんか？





大久保年度を迎えて

クラブ奉仕 総括委員長

星野幸子

(水戸西 R C)

大久保年度、クラブ奉仕総括委員長を務めさせていただきます水戸西 R C の星野幸子です。今年度2年目となります。どうぞ、よろしくお願い致します。

さて、クラブ奉仕委員会は「クラブの魅力を引き出し、未来へつなぐ」クラブづくりのお手伝いをさせて頂くことをミッションに活動しております。

会員増強委員会、クラブサポート委員会、公共イメージ委員会、I T 委員会が地区内 55 クラブの運営のサポートをして参ります。

昨年秋には、2022 年度規定審議会によるクラブ定款・細則の見直しとクラブ戦略計画に関するアンケートを実施させて頂きました。このようにクラブ運営の根幹の部分のサポートも行っております。

また、D X 化が進む時代におけるクラブの公共イメージを上げることは S N S 無くしては成

し得ません。公共イメージ委員会および I T 委員会は、各クラブの D X 化、S N S 戦略のお手伝いもさせていただきます。

そして、何と言っても会員増強・維持については、会員増強委員会がサポートさせていただきます。衛星クラブの作り方にご興味のあるクラブもぜひ、お声がけください。クラブ奉仕委員会では、会員増強を始め、各クラブの必要に応じて卓話をさせていただきます。My Rotary 登録のお手伝いも致します。

ぜひ、有効にお使い下さい。

今年度、新たな取り組みとして、女性会員の親睦及び会員増強を目的とした地区女性会員セミナーを開催する予定です。

大久保年度も全クラブの R I 会長賞達成の支援も行っておりまいます。

どうぞ、皆様、大久保年度もクラブ奉仕委員会を大いに活用し、クラブを活性化して参りましょう。





本年度の奉仕プロジェクトリーグの 活動について

奉仕プロジェクト リーグリーダー
高橋 賢 吾
(水戸西RC)

本年度は、大久保ガバナーの方針により、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の3つの委員会を集結し、奉仕プロジェクトリーグとして地区の活動を行うことになりました。その目的の一つは、クラブの各委員会の委員の皆様が3つの委員会活動に携わることにより、共通の認識を持ち、専門分野の見識を共有することにより力強いクラブの奉仕プロジェクトを推進するためです。二つ目の目的は、研究会やセミナーを効率よく開催し、クラブ単独では難しいプロジェクトを効果的に実践することです。

社会奉仕委員会は、大久保ガバナー独自の、茨城の魅力を多方面に発信するクラブ一押しコンテンツを網羅した茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」の作成です。このガイドブックにより、茨城のすばらしさを発信し、マイナーなイメージを払拭し、少しでも茨城に足を運んでもらえるようなガイドブックにしたいと考えています。

職業奉仕委員会は、RI会長の方針である「メンタルヘルスの啓蒙」に沿って、クラブ会員や職場のメンタルヘルスの課題に取り組んで参ります。特に会員企業に役立てていただける実践例や手法を紹介することを計画しています。

国際奉仕委員会は、グローバル補助金を利用した国際奉仕活動やこの指とまれ事業が、地区の一部に限られたクラブしか対象になっていない現実を打破するため、国際奉仕に関するセミナーを見直し、実践例やその手法をわかりやすく伝えるための体制を確立させ、出前卓話等も実施しながら国際奉仕を地区と共に作り上げるシステムを整えたいと思います。

本年度より、以上のような活動を展開していきますので、各クラブのご理解とご協力を頂きながら、クラブ独自の奉仕プロジェクトを推進するために地区委員全員で取り組んで参ります。





「職業奉仕」ってなに？

奉仕プロジェクトリーグ
職業奉仕委員会 総括委員長

安 圭 一
(水戸RC)

「職業奉仕」という言葉は、ロータリークラブに入会したときから気になっていました。ロータリークラブは奉仕団体であり、様々な奉仕活動を行なっている世界的な組織であることは、その活動実績をみれば誰もが理解できるところだと思います。

その一方で、「職業奉仕はロータリーの基本的な理念である。」などと言われていて、他の奉仕部門とは趣を異にしているため、職業奉仕というものについて十分に理解していないロータリアンが、意外と多いのが実情ではないでしょうか。少なくとも、私自身は職業奉仕というものについて、しっかりと理解できていたという自信はありませんでした。

この度、職業奉仕委員会に携わらせていただくことになったことを機会に、改めてロータリーの職業奉仕について調べてみました。その結果、ロータリアンとしての自覚を、私自身が持っていなかったことに気付かされました。職業奉仕という理念は、ロータリークラブの基本理念そのものであり、ロータリークラブに入会する当初から身につけておかなければならない「心構え」であり、「生き方」であることを知りました。

さらに、職業人の集まりであるロータリークラブにおいては、職業奉仕は単なる理念ではな

く、実践されるべきものであるということを知り、ロータリークラブが世界的規模で活躍していることの原動力がここにあったのかと、感動しました。

職業奉仕について学ぶことは、ロータリークラブの基本理念に立ち返ることであり、自分の生き方を見直すことにもつながるものであると考えます。

今年度は、この様なことをお伝えできるような活動を中心としていくとともに、近年、職業奉仕の実践の場における重要課題となっている「メンタルヘルス」についての理解を深める研修会を実施し、発信していく予定です。

どうぞ、よろしく願いいたします。





「見て覧（ミテラン）」で地域活性化を

奉仕プロジェクトリーグ
社会奉仕委員会 総括委員長

関本 淳一
(土浦RC)

本年度、地区社会奉仕委員会総括委員長を仰せつかりました関本淳一（土浦RC）です。

例年、当委員会では、地区内各クラブの社会奉仕活動企画・立案について有益な情報をご提供すべく、モデル事業や内容・詳細についてセミナーや研究会を実施しています。

本来であれば、この場で年度初めのご挨拶や上記内容についての一年間の全体的なスケジュールを申し上げるのですが、当委員会では今年度の担いとして茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」を作成することとなったため、ガバナ―補佐をはじめ、各クラブご担当者の皆様には数か月前から作成に関するご協力をお願いしているところです。

大久保ガバナ―年度の地区スローガンは、「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」ですが、私たちの住まう茨城県は海・山などの自然だけでなく、文化施設・歴史的な遺産、さらには各種レジャースポットを擁しているにも拘わらず、その魅力を十分に伝えられていないため、地域の魅力度はいまだ低迷しています。

「まちを磨く」ためには、先ずその街を知ることが必要です。ロータリアンの皆さんは、それぞれの地域を愛される方々の集まりですので、一般の方たちより地域に精通していることと思います。その皆さまが、それぞれの地域の『こ

こは！』というスポットを地区内55クラブで2地点ずつ紹介し、合計110地点の選りすぐりを載せたロータリー版茨城ガイドブックを作成いたします。都会の広告代理店には知られていなくても、地域を愛するロータリアンだからこそ知っている茨城県の魅力を伝える今までにないガイドブック、これが「見て覧（ミテラン）」です。

「見て覧（ミテラン）」が刊行され、それを手に取ったロータリアン・ロータリアン以外の方々が茨城各地の名所を訪れることにより地域が活性化するのは勿論ですが、実はもうひとつ目論見があります。各クラブ内で、地区を代表するスポットを選定する際には、委員会や理事会等で多くの議論がなされることと思います。この議論の中で、自分たちの地域の魅力を再認識し、または今まで知らなかったスポットの知識を得ることで、さらに地域に対する理解と発信力が高まることに繋がるのではないかと期待しています。

私のような若輩者には荷が重い、担いの多い一年ですが、「見て覧（ミテラン）」作成が地区スローガン体现の一助となり、地区内各地域の活性化に少しでもお役に立てる事業となることを祈念し、年度初めのご挨拶とさせていただきます。一年間どうぞよろしく願いいたします。



せっかくのロータリーですから、 世界と繋がらなければもったいない

奉仕プロジェクトリーグ
国際奉仕委員会 総括委員長

平島 隆之

(土浦RC)

大久保年度より、新たに地区国際奉仕委員会総括委員長を拝命いたしました平島隆之（土浦RC）です。

地区に出てから4年目、この3年間は財団委員会と国際奉仕委員会の二足の草鞋を履いて活動させていただいておりましたが、今年度からは国際奉仕委員会に専念して活動させていただきます。

ロータリーにおける奉仕活動の中でも、最も美しい花だと言われている国際奉仕は、その評価とは裏腹に、一部の限られたロータリアンの活動分野であって、一般のロータリアンにとっては縁遠い存在であると思われると感じております。今年度は出前卓話などを通して、少しでもその誤解を解いて身近な活動であるということを理解していただき、国際奉仕事業に新

たに参加するクラブを増やすことを目標にして行動いたします。

また、本地区独自の事業で、地区内最長の事業でもある「この指とまれ」事業を、SNS等を使ってロータリアンのみならず、一般に広く知ってもらうことに注力します。お隣の2790地区（千葉）では、本地区の「この指とまれ」事業を参考に、地区内で同様の事業を展開されようとしております。他の国際奉仕事業に比べて事業実施のためのハードルが低いこの事業を、将来的に他地区へ横展開してもらいたいと思いますので、そのためにもまずは、広く知ってもらうところから始めます。

加えて、国際紛争の場でのリーダーとして活躍する先人たちのような優秀で志の高い学生さんを応援支援するため、これまで同様、ロータリー財団奨学生候補のサポートをロータリー財団委員会の協力のもと行っていきます。

「せっかくのロータリーですから、世界と繋がらなければもったいない」。クラブを活性化するためにも、人生をより豊かなものにするためにも、ぜひ国際奉仕への積極的な参加をお待ちしております。1年間、何卒よろしく願い申し上げます。





未来のリーダーを育む

青少年奉仕委員会 担当カウンセラー

保延輝文

(石岡RC)

今年度、ゴードンR. マッキナリーRI会長は、「世界に希望を生み出そう」をテーマに掲げられました。そしてロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性を示す機会が訪れているとおっしゃっています。

青少年奉仕委員会はロータリーの五大奉仕の一つですが、未来の社会を支える若者を育成する重要なプログラムです。近年この青少年奉仕委員会は未来に向けて大きな変革がなされました。それはロータリーの青少年プログラムの四つの部門の一つだったローターアクトクラブが、2019年の規定審議会の決定で、正式にRIの会員になったことです。そのためローターアクトはクラブの組織、運営、資金管理、活動や奉仕プロジェクトの計画、実施を自ら決定することが出来るようになりました。以前は30歳が上限だった年齢制限がなくなったことも大きな変更点でもあります。



インターアクトクラブでは、12～18歳の中学・高校生が地元でのボランティア活動や海外のインターアクターとの交流を広げ国際感覚を養っております。したがって、スムーズに充実した活動を進めるためには、ロータリークラブの強い支援とともに、学校とのコミュニケーションが必要不可欠であると思います。

青少年並びにライラ部門は14歳～30歳のロータリーファミリーにリーダー育成のための指導者養成プログラム(RYLA)を行っております。RYLAは青少年の育成に大変重要な役割を担っており、特に多くのインターアクターの皆様には参加していただき、視野を広げる機会を数多く経験していただきたいと考えます。

青少年交換部門のコンセプトは、異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、自分で考え率先して行動する力を育てることが出来るようにすることです。実際に海外の多くの友人を得、自身のアイデンティティが養われることで、ロータリーのリーダーとしての道が大いに期待できます。

今年度はコロナが収束し活発な活動が行われると思いますが、まだまだ油断は禁物です。危機管理を十二分にわきまえて参りましょう。皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第 2820 地区における青少年奉仕活動

青少年奉仕委員会 総括委員長

高 田 稔 美

(つくば学園RC)

青少年奉仕委員会はインターアクト・ライラ・ローターアクト・青少年交換の4つの委員会で構成されています。ゴードンR. マッキナリーRI会長、大久保博之ガバナーの方針の下で五大奉仕部門の一翼を担うべく、基本方針として①奉仕活動で国際社会と地域へ貢献②SDGs実現を目指す人材育成③危機管理の周知と徹底④青少年と共に我々ロータリアンも成長する、の4点を軸に活動いたします。

「インターアクト委員会」は8月11日金曜日に水城高等学校をホストに提唱クラブ・水戸RCにて「インターアクト年次大会」を開催頂く予定です。地区内6校のインターアクトクラブの社会奉仕、国際貢献等の事業を支援させていただきます。また海外研修についても再開できるように委員会で議論を進めます。「青少年並びにライラ委員会」は14歳～35歳のロータリーファミリーや青少年を対象にリーダー育成のための指導者プログラム(RYLA)を企画・運営させていただきます。開催時期は検討中

ですが学びの場を提供できるようにリアル開催、1泊2日の日程にて準備を進めます。

「ローターアクト委員会」は完全自立のための意識変革を促し、地区大会、全国RAC研修、地区協議会等魅力ある事業構築の支援を進めます。また8RAC(16提唱クラブ)と連携し会員増強、組織強化に取り組みます。

「青少年交換委員会」では昨年度3年ぶりに長期交換留学生を派遣できました。今年度も1名アメリカに派遣、次年度の選考、オリエンテーションなども準備を進めます。

また継続している「ポリオ撲滅募金活動」も取り組みます。社会情勢をみながらの活動とはなりますが、コロナも制限が解除され、光が見え始めました。未来の礎となる人材育成のために尽力する所存です。

今年度もロータリアンの皆様には青少年奉仕活動へのご理解とお力添え、ご協力をよろしく願いたします。





クラブを輝かせる縁の下の力持ち

ロータリー財団
担当カウンセラー 総括委員長

新井和雄

(下館RC)

今年度、大久保博之ガバナーの指名により、引き続きロータリー財団委員会総括委員長を仰せつかりました。微力ではございますが、皆様のクラブの奉仕活動が活発に行われますよう、縁の下からバックアップさせていただき所存です。すので宜しくお願い致します。

さて、今年度のRI会長ゴードンR. マッキナリー氏が掲げたテーマは、CREATE HOPE in the WORLD です。メルボルン国際大会に参加した私は、ウクライナのロータリアン達から第2820地区の支援に対し、あなた方の行動はウクライナ国民に希望を与えてくれたと、沢山の感謝の言葉を頂きました。そこで感じたのは、ロータリーが社会問題を全て解決することは不可能ですが、紛争・災害・疾病などの困難に直面し、絶望の中にいる人たちに生きる希望を生み出すことができるということです。

そして、第2232地区のオルハ国際奉仕委員長が次年度のガバナーはどういう人だと聞くので、大久保さんという熱心な教育者で、ウクライナの子供達のためのメンタルヘルスのプロジェクトを計画していることを伝えると、スローガンは何だと聞くので、

It makes the world colorful, you brilliant, through refining the community. だと伝えると、本当にウクライナを支援してくれるのか？と聞くので、我々2820地区は、大久保ガバナーと共に、ウクライナの街が再び彩を取り戻せるように支援することを約束した次第です。地球上

に暮らす全ての人々が、平和な世界で、それぞれの人生を楽しんでいる日々を想像しながら、財団委員会ができることを実践し積極的平和に取り組んでまいりたいと思います。そうしたロータリーの奉仕活動に参加することが、人生の楽しみの一つとして数えることができるのがロータリアンなのではないでしょうか。

新たな手続き要覧が変わって2年目となり、ロータリーも、千変万化の様相を呈する中で、大久保ガバナー年度には、各クラブへのサポートとともに、地区委員会の編成を刷新したガバナンスに対しても多くの期待が寄せられています。そうした状況に鑑み、ロータリー財団委員会としましては、大久保ガバナーの年度方針に呼応し、各クラブの奉仕活動を資金面からバックアップさせていただきます。そして、変化の激しい昨今、ロータリー財団の最新情報を提供して行けるよう、セミナーや出前卓話を実施して行く所存です。

最後になりますが、ロータリーの各分野における奉仕活動は、ある時は社会に貢献しながら、またある時はクラブに貢献しながら、自己達成のために新たな知見や経験を得る自己研鑽の場にもなるのだと思います。こうして、奉仕の理念や中核的価値を共有し、自己を高め、生業を発展させ、持続可能な社会の発展のために活動されている、地区内会員の皆様方に敬意を表しますとともに、財団委員会へのご理解に衷心より感謝申し上げます。

■今年度より研修リーダーの呼称が「地区ラーニングファシリテーター」と変更となりました。御報告申し上げます。



世界との架け橋

米山記念奨学会 担当カウンセラー

池田 正純

(牛久RC)

第2820地区米山記念奨学会のカウンセラーの牛久RCの池田です。カウンセラーも今年で3年目という事で（ほとんど一年交代）だいぶ慣れて参りました。この奨学会は日本独自のプログラムですが財源は主に会員の浄財によって賄われており、国内34地区の多地区共同活動としてRIからも認められております。学業が優秀な学生だけでは米山記念奨学生にはなれません。異文化への理解やコミュニケーション能力に優れていなければなりません。そして、ロータリークラブを通じて日本の文化や習慣などに触れ、社会参加と社会貢献を育み、ロータリーの理想である国際平和の維持と創造に貢献することです。

この会の総事業費は約15億円で特にアジアを中心とした、129か国の地域の方々に日本最大の民間奨学事業であります。ほかの奨学会との一番大きな違いは、世話クラブの中から担当カウンセラーを置き、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーとして、心の通った交流をするとともに、奨学生は月に一度以上世話クラブの例会や奉仕活動に顔を出し、大学生活では得られない、出会いと交流を通じて日本の心を学びながら、ロータリアンと積極的に交流して国際理解や相互理解を深めるとともにロータリーの奉仕の心を学んでもらいます。

様々な職業や世代で構成されているロータリークラブとの交流は日本文化に接し、将来の事や奉仕について考える機会となり、奨学生とロータリアンの交流は相互理解のみならず、双方にとっての財産になるわけです。この奨学事業は交流を目的としたプログラムですが、ロータリアンとの交流を通じて、奉仕の精神に触れ自らの精神を磨くとともに人生観、職業観を高めます。ロータリアンにとっても金銭的支援だけでは得られない感動と米山への深い理解が生まれます。奨学生、ロータリアン双方にとって大きな感動を生む事業だからこそ日本最大の民間奨学事業に発展したのだと思います。母国へ戻る方、日本に残る方に分かれていますが、いずれにせよ母国との架け橋となり 広く国際社会で活躍する方を多く輩出することを望んでいます。





「育み育まれ」成長する委員会をめざして

米山記念奨学会 総括委員長

木村 美枝子

(水戸好文RC)

国際ロータリー第2820地区のロータリアンの皆様におかれましては、米山記念奨学事業に多大なるご理解、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。国際的な視野に立ち、海外から日本に来日して勉学に励む留学生を温かい心で支援する活動は、ロータリーの奉仕の理想の精神そのものです。

地区内指定校から推薦され、選考試験に臨む留学生は正に優秀で合格不合格の結果を出さなければならない試験官の心情は人間愛を持った正義感の表れでなければなりません。昨今の世界情勢は戦争があり、感染症の蔓延があり、自然災害の被災がありとネガティブな情報が他国の出来事であったのが、「明日はわが身」のごとく自国の出来事となりえます。人間が助け合うことは知恵を出し合って学びあうことです。故に、米山奨学事業は留学生を支援することによって、日々学びの連続です。

大久保ガバナ一年度で、総括委員長3年目となりますが、私にとり成長させていただく機会になりました。委員会委員一同、毎日が試練の連続で年間事業を計画的に進めていても、奨学生の体調不良による欠席者が出たり、台風という予想外の大雨の直撃で中止をやむなくされた米山記念館研修など、心が折れそうになる問題にも冷静に対応することを学びました。

さて、今年度はこれまでの学びを生かして奨学生への支援をより細やかに見守りたいと思います。世話クラブのカウンセラーの皆様は奨学生の父親母親のごとく見守ってくださる存在です。奨学生は世話クラブを来訪するたびに安息の幸せな時間をロータリアンと共有させていただいています。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。と語られます。「育む」そして「世界に希望を生み出そう」なんて創造的な言葉でしょう。米山奨学生の「今と未来」を象徴しているように聞こえます。

これからの一年間米山記念奨学会総括委員長として、地区の皆様と共に「育み育まれ」成長させていただく所存でございます。どうぞ皆様のご指導の程よろしくお願い申し上げます。



委員長メッセージ



あらゆる「もしも…」に備える

危機管理委員会 委員長

池田 正純

(牛久RC)

本年度の第2820地区の危機管理委員長を拝命いたしました牛久RCの池田です。

最近関東一円や北陸におきまして地震が多発しており大地震の予兆かなどと心配をしております。

昨年には、中東のトルコとシリアの間においての大震災が発生して、5万人以上の方が亡くなっております。そして、ウクライナへロシアが侵攻してから一年半が経過し、また台湾海峡付近においても緊張状態が続いており、世界的に不安定な状況にあります。またコロナにつきましても小康状態になりつつあり、五月の連休明けには2類から5類に格下げになったとはいえ、またパンディミックが起らないとは限らないと心配しております。このようなリスクあふれた不安定な社会を克服して、世界平和な幸せな社会を目指すのが危機管理だと思っております。



地区のロータリーにおきましては、最近までは青少年と留学生に対する危機管理だけで一般ロータリアンに対して危機管理委員会は全くのノータッチでしたが、最近の風潮もありロータリー活動へ参加する方ボランティアも含めてロータリアン全員に危機管理を実施しております。優先すべき対象として、自然災害（地震、津波、台風、洪水など）パンディミック（ウイルス性感染症の世界的流行）、ハラスメント（嫌がらせ、いじめ）、個人情報保護（同意を得る、なくさない、漏らさない）、サイバー攻撃（情報操作、なりすまし詐欺、フェイクニュース）などがあげられます。特にハラスメントは社会的問題提起が出来るため、社会的ステータスの高いロータリアンは報道の絶好のターゲットである為、マスコミへの対応としては、ロータリーの見解を地域社会へ伝える良い機会ととらえ、メディアの問い合わせには即座に答える、即答できない場合は折り返し急いで電話をする。正直に事実のみを話し、事実を隠蔽したり、言い訳をしないことがポイントです。それにはロータリアンの行動規範にもとづいて話すことです。

最後になります。どのようにしたら紛争や戦争をなくすことができるか。どうすれば感染症の拡大を止めることができるか。

このような事を平和時に学び、考えておく必要があります。



学友と共に…

ロータリー学友委員会 委員長

保延輝文

(石岡RC)

山崎清司パストガバナーより引き継いで、2年目になります。まだまだ手探りの状態ですが、各委員長とのコミュニケーションをとって、より効果的な運営を目指して参りたいと思います。

学友はロータリーファミリーの一員です。ですから、地区内外または海外で学友がロータリーに参加する機会を作り、それを推進し、地区内の学友とのつながりを維持していくことが大切になってまいります。それには、学友と力を合わせて奉仕プロジェクトや募金活動を行うことをロータリアンに理解していただくことがより求められることと思います。こうした協力活動は、地域社会におけるリーダーの育成や、学友のロータリー入会につながります。

また、ロータリーが行っている活動の影響や学友行事について、地区内の学友に情報を共有することも大切であります。

学友はインターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）、ロータリー平和フェローシップ、ロータリーの財団奨学金、国際親善奨学金、GSE（研究グループ交換）等の参加経験者がロータリー学友と呼ばれています。

今年度は、特にRYLAに多くの学友に参加していただき、グローバルな人材の交流を深め、とくにインターアクト達に、大きな視野を広め将来の自身の飛躍につながっていければ、大変意義のあるプログラムになります。

学友の活発な活動が将来のロータリーの活動に大きなエネルギーを与え続けることと確信しております。学友会の各委員長の協力を得ながら更なる発展に寄与できるよう頑張っていく所存です。皆様のご協力、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



世界米山学友による 再会 in 関東 SAIKAI in KANTO

開催日程 2023年8月5日～6日(土・日) 開催地 つくば国際会議場
「再会 in 関東」案内ページ URL <https://yoneyama.my.canva.site/saikai-in-kanto>

QRコードからのお申込みはこちら





RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会） について

RLI 地区代表 ファシリテーター

高橋 賢 吾

（水戸西RC）

RLIの目的は、「クラブの活性化」と「リーダーの育成」です。私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動をするためには、ロータリアン一人ひとりがロータリーの基本理念を理解し、コミュニケーションや活動を活発にして、クラブの活性化につなげて行く必要があります。すなわち、RLIの目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導力を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することです。

RLI研修の特色は、従来の講義を聞くスタイルではなく、決められたテーマについて、小グループで意見を自由に出し合って討議する形式です。ファシリテーター（FT）は進行役で、質問を投げかけながら、各自の自発的な考え方や意見を引き出していきます。参加者は解答の結論を求めるのではなく、課題に対する参加者の発言から自分自身の解答や方向性を見出す研修方法となっています。

RLIは、ただ新人を育成したり、ただロータリーを深く知ることだけでなく、ロータリーの基本理念である「ロータリーの目的」を現代的に議論したり、五大奉仕とロータリーの目的の関連性について考えてみることによって、改

めてロータリーをもう一度振り返る良いチャンスなのです。是非一度RLIを体験してみてください。

本年度は、RLI研修のPART IからPART IIそしてPART IIIまで、3段階の研修を開催いたします。クラブのリーダーの育成、クラブビジョンの確立やクラブのモチベーション向上のために是非ご参加ください。そしてRLIを大いに楽しんでいただければ幸いです。



5月会員増強報告・出席報告

分 区	クラブ名	会員増強報告(単位/人)								
		本 年 末 会員目標	期 首 会員数	5月実績		本年度累計			2023年 5月末日	うち 女性
				入会	退会	入会	退会	純増		
第1 分区	日立	74	72	0	0	6	7	-1	71	3
	日立南	32	26	1	0	11	2	9	35	1
	高秋	29	25	0	0	3	2	1	26	0
	北茨城	30	27	0	0	0	2	-2	25	3
	日立港	35	34	0	0	3	3	0	34	3
	日立北	31	28	1	0	4	3	1	29	0
	日立中央	20	17	1	0	5	2	3	20	3
合 計	251	229	3	0	32	21	11	240	13	
第2 分区	那珂湊	26	23	0	0	1	1	0	23	1
	常陸太田	35	32	0	0	2	3	-1	31	6
	大子	23	21	0	0	0	0	0	21	2
	大洗	16	15	0	0	2	0	2	17	0
	勝田	28	26	0	0	0	0	0	26	3
	東海那珂	38	36	0	0	0	3	-3	33	0
	ひたちなか	21	19	0	0	2	0	2	21	2
合 計	187	172	0	0	7	7	0	172	14	
第3 分区	水戸	121	119	0	0	12	7	5	124	4
	笠間	18	15	0	0	0	0	0	15	0
	水戸西	77	72	0	0	2	3	-1	71	11
	水戸南	80	77	0	0	3	1	2	79	12
	友部	23	21	0	0	1	3	-2	19	0
	水戸東	68	63	0	0	2	1	1	64	3
	水戸さくら	42	34	0	0	13	6	7	41	3
	水戸好文	18	16	0	0	0	0	0	16	15
合 計	447	417	0	0	33	21	12	429	48	
第4 分区	古河	55	52	0	0	0	1	-1	51	3
	境	31	28	0	0	2	1	1	29	0
	岩井	12	9	0	0	0	3	-3	6	1
	古河東	55	53	0	0	2	0	2	55	17
	古河中央	46	40	0	0	6	0	6	46	5
合 計	199	182	0	0	10	5	5	187	26	
第5 分区	下館	34	32	0	0	2	2	0	32	4
	結城	23	21	3	0	4	1	3	24	0
	真壁	16	14	0	0	1	0	1	15	0
	下妻	34	32	1	0	23	3	20	52	5
	しもだて紫水	61	51	3	0	4	5	-1	50	4
	筑西きぬ	14	12	0	0	0	0	0	12	1
	岩瀬	21	19	0	0	1	0	1	20	0
合 計	203	181	7	0	35	11	24	205	14	
第6 分区	石岡	21	16	0	0	1	0	1	17	0
	土浦	50	48	1	0	3	1	2	50	7
	土浦南	88	86	1	0	6	7	-1	85	5
	つくば学園	90	87	3	0	13	3	10	97	0
	石岡87	28	26	0	0	1	2	-1	25	0
	土浦中央	14	12	0	0	2	2	0	12	0
	つくばシティ	53	51	2	0	6	2	4	55	8
	阿見	14	13	1	0	3	2	1	14	2
つくばサンライズ	12	10	0	0	4	1	3	13	6	
合 計	370	349	8	0	39	20	19	368	28	
第7 分区	竜ヶ崎	35	33	0	0	2	1	1	34	5
	水海道	54	51	1	0	5	2	3	54	2
	取手	21	18	0	1	0	1	-1	17	1
	牛久	38	36	0	0	2	0	2	38	3
	守谷	4	3	0	0	0	0	0	3	0
	龍ヶ崎中央	11	8	0	0	0	0	0	8	1
合 計	163	149	1	1	9	4	5	154	12	
第8 分区	鉾田	32	30	0	0	0	0	0	30	0
	鹿島臨海	44	44	0	0	2	1	1	45	3
	玉造	9	7	1	0	1	0	1	8	1
	波崎	16	14	0	0	1	2	-1	13	1
	鹿島中央	23	20	0	0	3	1	2	22	3
合 計	124	115	1	0	7	4	3	118	8	
茨城Eクラブ	14	12	0	0	0	0	0	12	6	
地区合計	1958	1806	20	1	172	93	79	1885	169	

※期首とは7月1日の午前0時時点、末日とは当日末日午後12時時点とする。

新会員紹介



水戸西 R C
藤田 奈津子

■入会日
2023年4月5日

■職業分類
刑事弁護士



下妻 R C
八木下 聡

■入会日
2023年4月6日

■職業分類
運送業



下妻 R C
吉川 寛通

■入会日
2023年4月6日

■職業分類
保育園経営



下妻 R C
浦田 勝巳

■入会日
2023年4月6日

■職業分類
ハウスクリーニング



日立北 R C
堀越 信太郎

■入会日
2023年5月10日

■職業分類
銀行



下妻 R C
浦田 順子

■入会日
2023年5月18日

■職業分類
ハウスクリーニング



水戸西 R C
保科 均

■入会日
2023年6月7日

■職業分類
旅行業



しもだて紫水 R C
大嶋 康司

■入会日
2023年6月13日

■職業分類
米穀販売



水戸西 R C
石井 裕子

■入会日
2023年6月21日

■職業分類
建築

ロータリアンは東日本大震災を決して忘れません

ロータリー希望の風奨学金

被災遺児に教育資金を



「ロータリー希望の風奨学金」は2011年3月11日に発生した東日本大震災による被災遺児にそっと寄り添って、「希望の風」を送り続ける教育支援を目的としてロータリークラブが2011年11月から立ち上げました。すべての遺児が進学の希望をかなえられるように皆様のご支援をお願いいたします。今年度は公式訪問時にお一人1,000円の寄付を募ります。どうぞよろしく願いいたします。



ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会

第8回日台ロータリー親善会議台北大会のご案内

第8回日台ロータリー親善会議 台北大会（2023年10月20日）が台北マリオットホテルに於いて開催されます。予定人数になり次第締切とさせていただきますのでお早目の申し込みをお願い致します。詳細につきましては、地区HPをご覧ください。

開催日：2023年10月20日（金）

登録開始：14：30～

会議 親善晩餐会：16：00～

登録料：20,000円 家族：15,000円

会場：台北萬豪酒店（MARRIOTT TAIPEI）
台北市中山區樂群二路199號

◎登録締切日

2023年8月18日（金）



メンタルヘルス

こころの健康に目を向けましょう

高沢 彰

ゴードンR. マッキナリー国際ロータリー会長は、4つの優先事項の1つにメンタルヘルスの推進を掲げました。メンタルヘルスへの注目は、新型コロナウイルスの世界的な流行が身体的な面だけでなく、人々の精神的な面にも大きな影響を与えていることがきっかけになっています。

一方、ロータリーの友2023年3月号の同氏への会長エレクトインタビュー（横組み19-21ページ）で語られているように、実の兄を自死で失ったことや、Bipolar UK（英国の双極性障害支援団体）のアンバサダーを務めていることも大きく関わっているのでしょうか。マッキナリー会長は、コロナ禍がおさまりつつあるものの、精神的に苦しんでいる人は数多くいて、これを次のパンデミックと捉えており、メンタルヘルスについて話し合えるよう、また、人々が専門家の支援を得られるようにし、こころの健康を取り戻すまで寄り添うことの大切さを強調しています。

第2820地区大久保博之ガバナーは、このマッキナリー会長のメンタルヘルス推進の方針を受け、具体的目標の1つとして取り上げて、メンタルヘルス関連のセミナー開催などを通じて会員のみなさまの理解と啓蒙をはかることを目指して

います。また、月信でも、メンタルヘルスに関わるコラムを掲載し、職場でのメンタルヘルス、うつ病や認知症などのいわゆるコモンディスイーズ（日常的に高頻度で遭遇する疾患、有病率の高い疾患のことをいいます）であるメンタルヘルス上の課題などについて、会員のみなさまにお伝えしていきたいと考えております。メンタルヘルスのコラム担当は、水戸ロータリークラブ所属の精神科医、高尾哲也会員と私です。どうかよろしく願いいたします。

※ 隔月で掲載します。

高沢 彰 略歴

- 1973年 茨城県立水戸第一高等学校 卒業
- 1979年 埼玉医科大学医学部 卒業
- 1983年 同大学大学院医学研究科
(専攻：精神医学) 卒業
- その後、埼玉医科大学付属病院
病院助手、助手
- 1986年 ニュージーランド、オタゴ大学
心理学部 博士研究員
- 1988年 医療法人碧水会汐ヶ崎病院 勤務
- 1991年 同院院長・理事長就任
- 1992年 埼玉医科大学精神神経科
非常勤講師（～2020年）
- 2001年 水戸ロータリークラブ 入会
- 2019年 水戸ロータリークラブ 会長
- 2023年 ロータリーの友地区代表

8月・9月のガバナー公式訪問

8月 1日 (火)	友部RC
8月 2日 (水)	下館RC
8月 3日 (木)	日立港RC
8月 4日 (金)	玉造RC
8月 7日 (月)	水戸さくらRC
8月 8日 (火)	しもだて紫水RC
8月 9日 (水)	大子RC
8月17日 (木)	下妻RC
8月18日 (金)	守谷RC
8月21日 (月)	日立中央RC
8月22日 (火)	日立南RC
8月23日 (水)	日立北RC
8月24日 (木)	筑西きぬRC
8月28日 (月)	岩井RC
8月29日 (火)	鉾田RC
8月30日 (水)	結城RC
8月31日 (木)	取手RC
9月 1日 (金)	勝田RC
9月 2日 (土)	つくばサンライズRC
9月 5日 (火)	真壁RC
9月 6日 (水)	常陸太田RC
9月 7日 (木)	大洗RC
9月11日 (月)	那珂湊RC
9月12日 (火)	竜ヶ崎RC
9月13日 (水)	岩瀬RC
9月14日 (木)	波崎RC
9月15日 (金)	古河RC
9月19日 (火)	ひたちなかRC
9月20日 (水)	高萩RC
9月21日 (木)	鹿島中央RC
9月22日 (金)	鹿島臨海RC
9月27日 (水)	水戸西RC
9月28日 (木)	水戸東RC

8月・9月のスケジュール

8月 5日 (土)	米山世界大会「再会 in 関東」 (つくば国際会議場)
8月 6日 (日)	米山世界大会2日目 (つくば研究学園内を探索) My Rotary勉強会(ZOOM)
8月11日 (金)	インターアクト年次大会 (水城高校)
8月27日 (日)	米山記念奨学会セミナー (つくば山水亭)
9月23日 (土)	ガバナー補佐・ 総括委員長合同会議 (ホテルテラスザガーデン水戸)

※地区年間予定表に8月26日(土)「第1回会長幹事会」と掲載がありましたが、中止となりました。

2023-2024年度 地区大会のご案内

2023年7月に竣工致しました「水戸市民会館」で開催致します。

- 11月4日(土) 第1回 会長幹事会
(水戸市民会館)
RI 会長歓迎晩餐会
(水戸プラザホテル)
5日(日) 本会議・大懇親会
(水戸市民会館)



皆様のご参加をお待ちしております。

2024年シンガポール国際大会 早期登録のご案内

国際大会 開催期間(2024年5月25日～29日)

マリーナベイサンズ エキスポ &
コンベンション センター

MyRotaryにてオンライン登録が可能です。登録料が\$500(9月1日現在)です。どうぞお早めにご登録下さい。

Rotary



SINGAPORE
2024



国際大会会場のマリーナベイサンズ

LINE 公式アカウント

@103mbrqx

友だち募集中

第2820地区公式LINEを開設いたしました。
LINEアプリより友達登録をしていただくと、
地区からのお知らせや月信をご覧いただけます。



LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください

(私論) リーダーに必要とされる資質とは？

ガバナー 大久保 博之

■英国のリーダーを育てるパブリックスクール（アメリカではBoarding Schoolといいます。中高一貫の主に全寮制のエリート校）では下記の4つのリーダーの資質をあげています。

- ① 体力と健康
- ② 社会的・対人的能力（コミュニケーション能力・協調性・社会的適応能力）
- ③ 知的能力（いわゆる学力）
- ④ 志（使命感・公正・公平性・判断力・情熱・ノブレスオブリージュ）

■「体力と健康」は基本ですから学校では徹底的にラグビーやクリケットのような集団競技、あるいは（ガレー船の奴隷の辛さを身にもって叩き込む）ボート漕ぎをやらせ、有無を言わせず鍛え上げます。その結果英国ではリーダー層と労働者層の平均身長は7センチも違うというデータがあります。

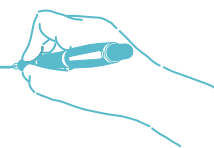
■リーダー層は労働者層にこう言います。「自分たちが体を鍛え勉強しているときに、彼らは十代からタバコを吸い、パブでエールやビールを飲んで（16歳から可）サッカーの応援を生きがいとしているから差がつくのだ。」と。

■労働者層はリーダー層にこう言います。「何が面白くて、小さいときから勉強や辛いスポーツなどやり、大して偉くもない役職にしがみつき、好き好んで苦勞しているのだ。人生は楽しむためにある。」どちらも一理あり永遠の論争です。

■しかし、英国では、リーダー教育の4点目の「志の教育」にはどちらの層も共感するのです。リーダーが、私利私欲を持たず、使命感を持ち、法を厳守し、何より公正でなければ世の中は闇になってしまいます。そのフェアネス（fairness）を連帯責任の教育で叩き込みます。

■そして大事なことはノブレス・オブリージュ（リーダーたるものの義務）。リーダーは一旦、事あって危機が訪れたら、真っ先に戦争で最前線に立たなければなりません。だから尊敬されるのです。英国では第一次大戦で最もリーダー層の死亡率が高く、一世代が消えてしまったとさえ言われています。近くでは、アルゼンチンと英国が戦ったフォークランド戦争でアンドリュー王子でさえヘリコプターのパイロットとして戦っていました。

■リーダーはその負う責任の覚悟があるからこそリーダーなのです。志のないリーダーはただのボス（Boss）といい尊敬はされません。



職場や日常生活で、周囲の人に何か事を頼まれることがある。あなたを見込んでとか言われたら、自信がなくても、つい引き受けてしまう場合がある。そしてともすると、断ればよかったと悔やむことになる。だが今回、当てにされるうちが花と決め込み、編集委員を引き受けてみれば、経験豊かなロータリアンの皆様の寄稿文を先行して読み・学べる役得に会った。半面、その校正では、時間と慎重さが必須な上に難しさも味わっている。今月号では、「第2回ガバナー対談」、「各種の奉仕活動・ロータリー財団・米山記念奨学会を牽引する諸氏の方針や見解」、「第1回メンタルヘルス」を含む多くの記事から勉強させて頂きました。感謝です。（中村）